



連携支援だより

新しい元号になり新たな時代を迎えました。今年度もどうぞよろしくお願いたします。
第 1 号は浦舟の学校紹介と、今年度の研修のご案内をさせていただきます。



浦舟特別支援学校は横浜市立で唯一の病弱特別支援学校です。

医療との連携のもと、小学 1 年生から中学 3 年までの病気療養中の子どもたちへの支援を学籍を移して行っています。

横浜市内にはもう一校、神奈川県立こども医療センターに併置されている神奈川県立横浜南養護学校があります。

浦舟特別支援学校は横浜市立市民病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立大学附属病院、横浜市立みなと赤十字病院内に設置された 4 か所の院内学級と、院内学級が設置されていない横浜市内の病院での訪問指導、退院後に医師より自宅療養の指示があり、前籍校に復学するまでの期間、自宅への訪問指導を行っております。

病院に入院となった場合に、医師の判断により転入が必要な場合、本人及び保護者の希望で教育相談を行い、転入手続きの運びとなります。そして、退院とともに転出手続きを行う事となります。

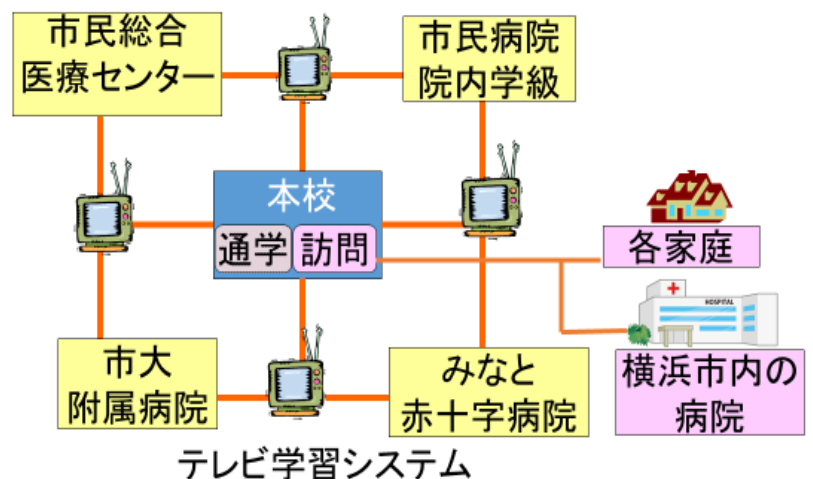
このように、浦舟特別支援学校は転入・転出手続きは医師の判断を基に学校間で確認を行いながら進めております。

*退院後にスムーズに前籍校へ復学ができるよう、入院前の学習をできるだけ継続しながら子どもたちの体調に合わせ、授業を行っております。

体調によっては学習だけでなく、創作活動やゲームなどで気持ちをリフレッシュさせて前向きな気持ちで生活できるような自立活動の時間も大切にしています。

前籍校の学習進度を意識して進めることが子どもたちの安心感につながります。前籍校の担任の先生方とも連携をしながら支援をしたいと思っております。

浦舟特別支援学校





研修会のご案内



第1回 「学校と医療の連携」

日時 令和元年7月26日（金）15：00～16：45

場所 南公会堂（南区総合庁舎内） （地下鉄阪東橋 徒歩5分）

仮題） 「児童生徒の抱える精神的課題について」

講師 横浜市立大学附属市民総合医療センター

精神医療センター部長 高橋雄一 氏

第2回 「学校と福祉の連携」

日時 令和元年11月8日（金）15：30～16：45

場所 横浜市立浦舟特別支援学校 研修室 （地下鉄阪東橋 徒歩5分）

仮題） 「児童相談所精神科医師の立場からこどものSOSについて」

講師 こども青少年局担当課長

（西部児童相談所医務担当係長）陶山寧々 氏

第3回 「病弱教育と人権について」

日時 令和2年1月24日（金）15：30～16：45

場所 横浜市立浦舟特別支援学校 研修室 （地下鉄阪東橋 徒歩5分）

仮題） チャイルド・ライフ・スペシャリスト、セブティック・レクレーションスペシャリストという長期治療を必要とする子どもと家族の支援活動をしている立場から、子どもの人権について考える。

講師 特定非営利活動法人

Being Alive Japan 理事長 北野華子 氏

教育相談について

病気などが理由で、市内の病院に入院しているお子さん、登校ができていても病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受け付けています。

学校からだけでなく保護者からの相談も受け付けていますので、是非ご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 荻野 Tel 243-2624

*お手数ですが、全職員への回覧をお願いいたします。